

門田 守人先生追悼文

「がん哲学外来市民学会」代表

樋野興夫

門田守人先生(1945年8月8日 - 2023年9月7日：大阪大学名誉教授/日本医学学会会長)がご逝去された。門田守人先生には『がん哲学外来市民学会』の顧問をして頂いていた。『暇げな風貌』の中に『偉大なるお節介』を有する『胆力と気概』を持たれた医学者であった。

第69回日本癌学会学術総会（2010年大阪国際会議場）の大会長であった門田守人先生から、私は、『がん研究入門コース』の座長を仰せつかったのが鮮明に思い出された。会場は満員の大盛況であった。『学者にはいつも「入門」の謙虚さがある』（元国立がんセンター総長 杉村隆先生）の言葉が蘇る。日進月歩の『がん研究』をじっくりと全体像を把握出来る『次世代の医学・医療を考える』良い機会となった。

また、2023年4月21日 第31回日本医学会総会に出席した（東京国際フォーラムに於いて）。日本医学会会長 門田守人先生が講演で、1947年の東京大学入学式の南原繁（1889-1974）総長の式辞をスライドで提示された。大いに感動した。『スケールの大きい、愛情豊かな人物』&『時代を動かすリーダーの清々しい胆力』&『人間の知恵と洞察とともに、自由にして勇氣ある行動』の持ち主の南原繁の話聞いた。『はしるべき行程』と『見据える勇氣』は、『社会貢献の羅針盤』で、『人知を超えて、時が進んでいる』の学びの時が与えられた。門田守人先生とは、『天国のカフェ』で再会したいものである。